

### 3. おう吐物の処理方法

#### 【処理方法】

- ① 汚染場所に関係者以外の人が近づかないようにします。
- ② 処理を始める前に、使い捨て手袋とマスク、エプロンなどを着用する。
- ③ おう吐物をペーパータオルなどで、外側から内側にむけて、静かにふき取る（同一面ですると汚染を拡げるので注意）。



③



④

- ④ おう吐物とふき取りに使ったペーパータオルなどをビニール袋に入れ、0.1%次亜塩素酸ナトリウムを染み込む程度に加えてから、袋の口をしぼる。
- ⑤ おう吐物をふき取った場所を、0.1%次亜塩素酸ナトリウムに浸した別のペーパータオルなどでふく。



⑤



⑨

- ⑥ 次亜塩素酸ナトリウムは腐食性があります。鉄などの金属は錆びることがありますので、ふき取り後、10分程度待って水で浸した別のペーパータオルでふき取る。
- ⑦ 汚染物と消毒に使用したものの全てを別のビニール袋に入れ、袋の口をしぼり廃棄する。
- ⑧ エプロンなどの衣類におう吐物が付着した場合は、0.1%次亜塩素酸ナトリウムに10分間浸すか、85℃で1分間以上の熱湯消毒を行い、他のものと分けて最後に洗濯する。  
(次亜塩素酸ナトリウムにより脱色される場合があります、また熱湯により衣類が傷む場合があります。)
- ⑨ 手は石けんを使用し、よく、もみ洗いする。

- ☆ 下痢・おう吐物を処理した後48時間は感染の有無に注意してください。
- ☆ 処理時と処理した後は、大きく窓を開け換気しましょう。
- ☆ 使い捨てのマスクや手袋を使い、二次感染及び拡大を防ぎましょう。

## 次亜塩素酸ナトリウム消毒液の作り方

市販されている次亜塩素酸ナトリウム製剤は濃度が高いため、薄めて使いましょう。

注) 液は、作り置きはできません。使い切ることができなかった液は、捨てましょう。

原液濃度	0.1% 次亜塩素酸ナトリウム を作る場合	0.02% 次亜塩素酸ナトリウム を作る場合
1%(ミルトン)	原液 10ml + 水 100ml	原液 10ml + 水 500ml
5%(ハイター ブリーチ)	原液 10ml + 水 500ml	原液 10ml + 水 2.5l

### ペットボトルを利用して簡単に作ることができます



..... キャップ 1 杯が 5ml に相当します。

水の量に対して、原液をどれくらい入れたらいいのでしょうか。次の式にあてはめて、簡単に計算することができます。

$$\frac{\text{水の量 (ml)} \times \text{作りたい濃度 (\%)}}{\text{原液の濃度 (\%)}} = \text{原液の量 (ml)}$$



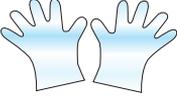
5%濃度の原液をつかって、2Lの水で0.02%の次亜塩素酸ナトリウム消毒液を作る場合は…

$$\frac{2000 \times 0.02}{5} = 8(\text{ml})$$

原液を8ml加えれば  
いいことが分かります。

## 嘔吐物の処理セット

----- 事前に用意しておきましょう -----

 <p>使い捨てペーパーなど おう吐物の拭き取り</p>	 <p>使い捨てマスク おう吐物中のウイルス 吸い込み防止</p>
 <p>使い捨て手袋 おう吐物中のウイルスに 触れるのを防止</p>	 <p>ビニール袋 おう吐物の廃棄 (穴が開いていない ことを確認しておくこと)</p>
 <p>塩素系漂白剤(次亜塩素酸ナトリウム) 消毒 水で希釈して 0.1% 次亜塩素酸ナトリウムに して使用 (濃度が市販品より異なるので注意※) ※参考商品名 例)5~6%:ハイター、ブリーチ 6%ピュラックスなど</p>	 <p>薬用石けん 手指の洗浄 (感染予防の基本)</p>

専用バケツを作り、  
必要な物品を一緒に  
準備しておくことで  
すぐに使えて便利です。



### 4. 消毒剤の特徴

分類	商品名	有効成分			特 徴
		手指	細菌	ウイルス	
消毒用エタノール	ウエルパス イソジンバーム	◎	◎	×	即効性がある。 手に入りやすい。 くりかえし使用すると肌荒れを起こしやすい。
逆性石鹸	ハイアミン オスバン	◎	◎	×	石けんなので汚れを落としたものを殺菌する目的で使われる。
次亜塩素酸ナトリウム	ハイター ブリーチ ミルトン	×	◎	◎	金属を腐食させるおそれがある。 酸と混合すると有毒ガスが発生する。

◎有効（使用可）、×無効（使用不可）